

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第4区分
 【発行日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【公開番号】特開2009-238277(P2009-238277A)
 【公開日】平成21年10月15日(2009.10.15)
 【年通号数】公開・登録公報2009-041
 【出願番号】特願2008-80958(P2008-80958)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 20/18 (2006.01)

G 0 6 F 11/34 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/18 5 0 1 B

G 0 6 F 11/34 B

G 1 1 B 20/18 5 7 2 B

G 1 1 B 20/18 5 7 2 F

G 1 1 B 20/18 5 7 6 B

G 1 1 B 20/18 5 5 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データを記憶領域へ記録する記憶装置であって、

予め設定された所定の条件が満たされたかどうかを判断する判断部と、

前記判断部により前記所定の条件が満たされたと判断された場合に、該満たされた条件と、前記記憶装置のリード動作又はライト動作、及び前記記憶装置の状態に関する情報を含む内部情報と、を対応付けて管理する内部情報管理部と

を備える記憶装置。

【請求項2】

請求項1に記載の記憶装置において、

時間の経過をカウントするカウント部をさらに備え、

前記判断部は、前記カウント部によりカウントされる時間が予め設定された所定の時間に達した場合、前記所定の条件が満たされたと判断し、

前記内部情報管理部は、前記所定の時間と該所定の時間に達するまでの内部情報とを対応付けて管理することを特徴とする記憶装置。

【請求項3】

請求項1に記載の記憶装置において、

前記判断部は、前記内部情報における所定の値が予め設定された所定の値に達した場合、前記所定の条件が満たされたと判断し、

前記内部情報管理部は、前記所定の値と該所定の値に達するまでの内部情報とを対応付けて管理することを特徴とする記憶装置。

【請求項4】

請求項2に記載の記憶装置において、

前記内部情報管理部は、管理する内部情報の情報密度を前記所定の時間に基づいて変更

することを特徴とする記憶装置。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の記憶装置において、

前記内部情報管理部は、管理する内部情報の情報密度を前記所定の値に基づいて変更することを特徴とする記憶装置。

【請求項 6】

データを記憶領域へ記録する記憶装置における内部情報保存方法であって、

予め設定された所定の条件が満たされたかどうかを判断する判断ステップと、

前記判断ステップにより前記所定の条件が満たされたと判断された場合に、該満たされた条件と、前記記憶装置のリード動作又はライト動作、及び前記記憶装置の状態に関する情報を含む内部情報と、を対応付けて管理する内部情報管理ステップと

を備える内部情報保存方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述した課題を解決するため、記憶装置は、データを記憶領域へ記録する装置であって、予め設定された所定の条件が満たされたかどうかを判断する判断部と、前記判断部により前記所定の条件が満たされたと判断された場合に、該満たされた条件と、前記記憶装置のリード動作又はライト動作、及び前記記憶装置の状態に関する情報を含む内部情報と、を対応付けて管理する内部情報管理部とを備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、内部情報保存方法は、データを記憶領域へ記録する記憶装置における内部情報保存方法であって、予め設定された所定の条件が満たされたかどうかを判断する判断ステップと、前記判断ステップにより前記所定の条件が満たされたと判断された場合に、該満たされた条件と、前記記憶装置のリード動作又はライト動作、及び前記記憶装置の状態に関する情報を含む内部情報と、を対応付けて管理する内部情報管理ステップとを備える。